

ドナウ の 四季

2019年 秋季号

驕るFIDESZに手痛い一撃	盛田 常夫	1
ハンガリー動乱を撮影した二人の若者	木村 香織	7
ハンガリー動乱から63年	盛田 常夫	11
日本人学校運動会	柴田 大輔・渡邊 煌己	14

Heat Therapy in Oncology—Oncothermia
New Paradigm in Hyperthermia
Andras Szasz and Tsuneo Morita

腫瘍温熱療法—オンコサーミア

ハイパーサーミアのパラダイム転換——医術から医学へ

サース・アンドラーシュ／盛田常夫〔著〕



日本評論社

温熱治療のパラダイムを転換する

温熱治療を根本から見直し、
あるべき手法を示した著書。

曖昧な日常知を科学によって解明した画期的な著作。

オンコサーミア治療器は世界25カ国で利用。
ドイツでは百か所以上のクリニックで、
韓国の主要な大学病院に設置。

好評発売中。定価3200円+税。
大手書店、Amazonにて購入可。

第4章 腫瘍温熱療法

- 4.1 腫瘍温熱治療の基本概念
- 4.2 ハイパーサーミアの手法
- 4.3 熱の作用と併用効果
 - (1) 熱と血流
 - (2) ハイパーサーミアの併用効果
- 4.4 ハイパーサーミアの熱生成
 - (1) アンテナ放射
 - (2) 磁場(コイル)
 - (3) 容量性カップリング
 - (4) 伝導加熱
- 4.5 ハイパーサーミア治療が抱える問題

第5章 オンコサーミアの理論と方法

- 5.1 電場の利用
- 5.2 細胞燃焼
- 5.3 腫瘍治療における細胞加熱
- 5.4 ミクロスコピック加熱
- 5.5 集束化の原理
- 5.6 温度の役割
- 5.7 安全性
- 5.8 積算量(ドーズ)
- 5.9 臨床事例

第6章 自然療法としてのオンコサーミア

- 6.1 ホメオスタシスの復位
- 6.2 細胞の自然死の促進
- 6.3 細胞転移の阻止
- 6.4 転移がん細胞に作用

第1章 ハイパーサーミアの歴史と評価

- 1.1 ハイパーサーミアとは何か
- 1.2 ハイパーサーミアの曖昧さと課題
- 1.3 ハイパーサーミアの歴史的概観
- 1.4 腫瘍治療のハイパーサーミア

第2章 ハイパーサーミアの物理学

- 2.1 電磁気学の基礎概念
 - (1) 電磁気現象
 - (2) 電場と磁場
 - (3) キャパシタ
 - (4) 位相シフト
 - (5) インピーダンス
 - (6) 電磁波
- 2.2 バイオ電磁気学
 - (1) 電磁波スペクトル
 - (2) バイオインピーダンス
- 2.3 「非熱」効果
 - (1) 非温度依存(NTD)効果
 - (2) 電磁場におけるNTD効果
 - (3) 電磁気による目標選択
 - (4) 電磁気と生体システム

第3章 ハイパーサーミアの生理学

- 3.1 生体におけるエネルギー、熱、温度
- 3.2 生体における温度制御
- 3.3 生体の加熱と体温
- 3.4 加熱による温度の分布
- 3.5 全身加熱と局所加熱の本質的な差異
- 3.6 加熱と冷却:リスクとその回避
- 3.7 温度測定と熱積算量(ドーズ)

驕る FIDESZ に手痛い一撃

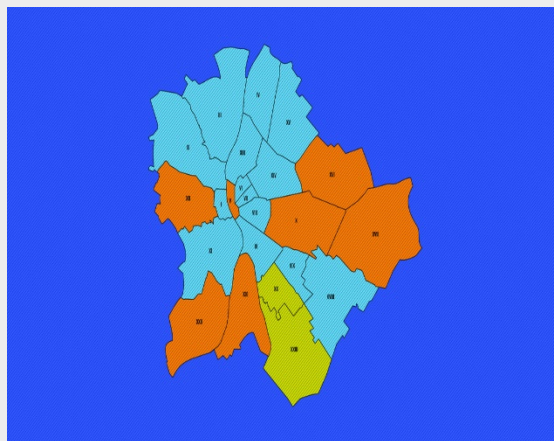
－2019 年一斉地方選挙

盛田 常夫

異変が起きた

2010 年以降、FIDESZ はほとんどの選挙で 50%を超える得票率を記録し、圧倒的な選挙戦を展開してきた。2018 年総選挙では全国比例区で得票率 49.27%を獲得し、議席定数 199 の三分の二を超える 133 議席を確保した。野党が獲得した議席はわずか 63 議席である。選挙区の獲得議席は FIDESZ の 91 議席にたいし、野党のそれはわずか 15 議席にすぎない。しかも、そのうち 8 議席はブダペスト 13 選挙区中の獲得議席だから、首都以外の選挙区ではわずか 7 議席しか獲得できなかった。まさに、ブダペスト以外のハンガリーは FIDESZ 帝国になっている。2019 年欧州議会選挙でも、FIDESZ は実に 52.56%の得票率を得て、ハンガリーに割り当てられた 21 議席中、13 議席を獲得した。

このように、長年にわたる FIDESZ の地方戦略が奏功して、FIDESZ＝オルバン首相の政治支配はかなり長期にわたって続くのではないかという悲観的な展望が、野党勢力を支配していた。ところが、2019 年 10 月に行われた一斉地方選挙で異変が起きた。野党が候補を統一したブダペスト市長・区長ならびに県都の首長選で、野党統一候補が FIDESZ 候補を次々に破ったのである。



ブダペスト区長選の当選結果：ブルーが野党統一候補、
オレンジ FIDESZ、黄色が無所属

ブダペストで完敗した FIDESZ

2010 年からブダペスト市長を務めるタルロシュ・イシュトヴァーンはとくに政策的誤りがなく、交代を求める世論の盛上りもなく、政府系の世論調査機関は 10 ポイント以上の差

で再選されると報道していた。しかし、投票結果は野党統一候補で社会党のカラチョニ・ゲルゲイがタルロシュに 5.76% の差をつける得票率 50.86% で当選し、ブダペスト市議会でも野党は過半数を制した。さらに、ブダペスト 23 区の区長選において、野党統一候補は 14 区で勝利し FIDESZ 与党は 7 区しか獲得できなかった（2 名の無所属）。とくにブダペストの中心部で FIDESZ は惨敗を喫し、ブダペスト市周辺部の区長を維持するに終わった。かくして、2019 年一斉地方選挙で FIDESZ は首都ブダペストで完敗した。過去 10 年、FIDESZ がこれほどの敗北を喫したことはなかった。



ブダペスト新市長：カラチョニ・ゲルゲイ

さらに、ブダペストを除く全国 23 の県都の首長（知事）選でも、野党統一候補は 10 都市を抑え、FIDESZ は無所属候補を加えて 13 都市を制した。ここでも、野党統一候補は FIDESZ 候補に肉薄した。FIDESZ は 23 県のうち 11 県で 2014 年の得票を減らし、12 県で得票を増やした。

依然として、FIDESZ の全国得票率は 50% を上回ったが、それは主として地方都市や町村の小さな自治体に留まり、大きな都市では軒並み敗北を喫した。オルバン首相は FIDESZ が得票総数の過半を超えたことで政権が信任されたと強調したが、都市での手痛い敗北はここ 10 年経験しなかった敗北感を FIDESZ 陣営に蔓延させている。

FIDESZ 苦戦の理由

2019 年地方選で野党統一候補が前進した要因がいくつか考えられる。

第 1 に、野党勢力の総結集である。ほとんど独裁的な地位を保持している FIDESZ にたいして、少数野党が個別に戦っていたのでは、永久に政権交代は実現できない。この総結集が奏功した。

第 2 に、オルバン首相の強引な政治手法への批判である。難民・移民政策では政府を支持する人は多いが、CEU（中欧大学）への攻撃や科学アカデミー再編で示した問答無用の姿勢

は、FIDESZ 系の知識人ですら辟易するものだった。学者・知識人を見くびった態度と、批判精神が弱い地方住民を取り込む日常的な懐柔戦術は、知識人のみならず、都市の住民の反感を買った。

第 3 に、FIDESZ 政権が展開するメディア統合支配は地方住民の政権支持を堅固にしているが、都市の住民は政府公報に堕した公共メディアやフリーペーパーによる日常的な選挙キャンペーンに不公正さを感じている。本章でも取り上げたブダペストを中心に配布されている Lokál 誌は、選挙期間中、与党候補の写真を一面に掲げて応援していた。国営企業や政府の広告費で出版されている週刊紙が、一方的に与党候補を支援するのは許されない。地方で功を奏する手法でも、ブダペストなどの都市では反感を買うだけである。ブダペスト市長に当選したカラチョニ市長は、すぐにこの Lokál 誌とブダペスト交通公社が結んだ契約を破棄することを約束している。

第 4 に、政府系調査機関 (<https://szazadveg.hu/>, <https://nezopontintezet.hu/>) の政権にたいする「異常な忖度」も問題になっている。故意に与党候補の圧倒的優勢を伝えていた疑惑が浮上している。しかも、投票直前には、与党にたいして、僅差の状況になっていることを内部報告したことも明らかになっている。権力に媚びる調査機関など、あつてはならない。

第 5 に、FIDESZ 政権が長期化するにつれて明らかになった腐敗現象である。たんにメーサーロシュ・ファミリーに巨額の補助金事業を与え続けているだけではない。与党政治家が定住権付き国債販売で、巨額の国家資金を流出させたことにたいして、政府首脳は一切弁明していない。それどころか、補助金事業を獲得した企業から、オルバン首相を初めとする政治家が各種の接待を受けている。そのことに何の恥じらいも後ろめたさも感じない倫理感に、都市の知識人は呆れている。国民を侮る態度が、しっぺ返しを受けた。

第 6 に、選挙終盤になって大騒動を惹き起こしたジュール市長の「乱交ビデオ」である。FIDESZ のボルカイ・ジョルト (Borkai Zsolt) 市長がアドリア海の豪華ヨット内で、クロアチア人セレブ女性 6 名と乱交したビデオが、投票直前になってネットに流された。これに慌てた FIDESZ 首脳はボルカイの立候補辞退を迫り、政府系日刊紙 Magyar Nemzet 紙もボルカイ市長の辞任を求める無署名論文を掲載した。ブダペスト市長タルロシュや国会議長クヴィールもまた、ボルカイ辞任で、選挙への影響を最小限に留めようと動いた。「乱交ビデオ」が公開された時に、オルバン首相はイタリアとフランスを外遊中で連絡がとれず、FIDESZ 首脳はとりあえずボルカイ辞任で事態を乗りきることを考えていた。ところが、連絡がついたオルバン首相に最終的な判断を求めたところ、「辞任の必要は無い」として、辞任に動く国内の首脳の動きを止めた。これで予定されていたボルカイ辞任会見がキャンセルされた。Magyar Nemzet 紙もまた、承諾を得ていない記事が誤って掲載されたと弁明することになった。

ボルカイ・スキャンダルの背景：AUDI 利権の独り占め

この内部騒動から分かったことは、これほど重大な問題に、FIDESZ 内部でオルバン首相

を諫め説得できる政治家がいないことである。オルバン自身、スキャンダルや腐敗に高い倫理感を保持していないことはこれまでの叙述からも明らかだが、そのことが改めて裏付けられた。「この程度のことで、FIDESZ の支持が減ることはない。むざむざと野党に市長の椅子を渡すことはない」という奢りである。事実、ボルカイ市長は得票を大幅に減らしたが、野党統一候補に 644 票の差をつけて再選された。しかし、FIDESZ 首脳はボルカイ・スキャンダルが、ブダペスト市長選や他の首長選に与えた影響を否定していない。

ボルカイは FIDESZ から離党することを伝え、FIDESZ 政権もこれで落着としたが、とてもそれで済む話ではない。このスキャンダルはたんに破廉恥罪というだけでなく、ジュール市の利権に深く関係している事件である。一介の市長が自分のお金でアドリア海の豪華ヨットで豪遊できるはずがない。その便宜を提供した者がいる。豪華ヨットに同乗していたのは、ボルカイの友人で、AUDI への土地売買で数十億 Ft も儲けた弁護士ラーコシュファルヴィ・ゾルターン (Rákosfalvi Zoltán) である。彼がこの費用を負担したと考えるのが自然である。彼の弁護士事務所は自らが所有する不動産会社にもなっている。この会社が AUDI 工場に隣接する農地を 2013 年にただ同然で取得し、いったんルクセンブルグに設立した会社売り渡すという操作を行った。その間に、ボルカイの指示で、当該用地が農地から工業用建設地に転換された。この会社が再び国内企業を経由して AUDI に売却するというスキームで、40 億 Ft 近い売却益を取得した。

実際の取引はもう少し複雑で、ルクセンブルグの会社は工場拡張用敷地を直接 AUDI に売却したのではなく、ハンガリーに設立された会社に売却し、その会社が AUDI に賃貸するという形態をとった。AUDI にとっても、あまりに見え透いたスキームは後々問題が生じる。一定の賃貸し期間を終えた後に、AUDI は当該の敷地を買い取った。

このルクセンブルグのラーコシュファルヴィ所有のオフショア会社 Luxemburg Akonia S.A.EU を実質的に切り盛りしているのは、ハンガリー人で現地に住む Kacsóh Gábor である。この Kacsóh Gáborこそ、EU 補助金詐取で EU 会計検査院から告発されたオルバン首相の女婿ティボルツ所有の ELIOS 社を買い取った人物である。ここから、ティボルツはジュールの利権にも関係しているのではないかと疑われている (HVG, 2019. Oktober 17., 11.o)。このこともオルバン首相の判断に影響しただろう。

クロアチアとの奇妙な関係

ラーコシュファルヴィは弁護士というより、こうした事業で暗躍する実業家で、政治的コネを利用して各地のカジノ経営権を取得して、ハンガリーで第二位のカジノ所有者になった。彼はまた、2015 年に自らの会社 (Akonia Kft.) のマネージャーに、20 歳そこそこのボルカイの長男 (アダム) を据え、月 100 万 Ft の給与を払っていたと報道されている。この会社は 2016-2018 年に売上げを記録していないという。さらに、「乱交パーティ」にはジュール市の利権で焼け太った事業家が数名参加しており、そのうちのサボー・エルヴィン (Szabó Ervin) はジュールでレストラン業を手広く営んでおり、5 年前にボルカイの長女

(ペトラ) にレストランの 1 店舗を売り渡したが、現在もなお売却されたはずのレストランの連絡先は、サボーが経営するレストランの住所になっているという。さらに公立学校教員であるボルカイの妻が風光明媚な Sokorópátka の村に 4 ヘクタールの敷地を保有し、その敷地が一大スポーツセンターになっていることも暴露された。市長や教員の給与ではとても賄えない投資である。これらはラーコシュファルヴィやサボーが儲けたお金をボルカイ一家に配分する仕組みの一つである。いわば「乱交パーティ」に参加していたのは、ボルカイ市長とジュール市の利権で潤った実業家たちなのである。

これほどのスキャンダルが暴露されても再選された背景には、ボルカイを頂点とするジュール市の利権の囲い込みがある。AUDI の利権のみならず、ジュール市の再開発で巨額の補助金が動いている。利権保持の結束の強さがボルカイ再選を実現させた。他方で、その利権をめぐる仲間割れが、乱交ビデオの暴露に繋がったと考えるべきだろう。ネットに公開されたビデオの発信者は、"Ördög Ügyvédje(devil lawyer)"と署名されている。ボルカイ告発より、ラーコシュファルヴィの告発を狙ったものとすれば、彼との事業トラブルにある人物の告発だと推測される。さらに、セレブ女性を集めたクロアチア側の関係者が、FIDESZ の政治家を狙って暴露した可能性もある。

ハンガリーとクロアチアの政治関係は必ずしも良いとは言えない。2008 年から 2009 年にかけて、ハンガリー石油ガス公社 MOL がクロアチア石油公社 INA の所有権の過半を買収した時に、MOL は当時のクロアチア首相サナデル (Ivo Sanader) に 1,000 万ドルの裏金を払った。この件が明らかになる直前、サナデルは突如首相を辞任した。2010 年 12 月になって、クロアチア検察はサナデルを収賄容疑で逮捕しようとしたところ、サナデルはオーストリアに逃亡した。しかし、2011 年 7 月にオーストリアからクロアチアに送還され、第一審で 10 年の懲役刑の判決が下った。

これに対応して、クロアチア検察はハンガリー MOL 社長ヘルナディ・ジョルトの逮捕状を得て、Interpol を通してヘルナディ・ジョルトを国際手配した。クロアチア政府は同時に、ハンガリー政府にたいし、ヘルナディ・ジョルトの引渡しを求めてきた。ハンガリー政府と裁判所はこの引渡し請求を拒否し、今日まで続いている。

ハンガリー首相オルバンは自らの出身地フェィール県セーケシフェィールヴァールを本拠地とするサッカークラブ Videoton を最良にしており、ハンガリー最大企業 MOL をスポンサーにするようにヘルナディに働きかけた。明らかに、ヘルナディを守る代わりに、MOL の資金を最良のクラブに入れよということである。MOL がスポンサーになったクラブは名称を変更して、MOL Vidi FC (2019 年より MOL Fehérvár FC) になった。このクラブが所有するジェットで、オルバン首相がロシア W 杯の観戦に出向いた。

また、オルバン首相と盟友メーサーロシュはクロアチアのサッカークラブに肩入れしており、クロアチアのサッカー界との不可解な関係を築いている。政治の表舞台で両国の関係はギクシャクしているが、オルバン＝メーサーロシュとクロアチア・サッカー界とは奇妙な関係が続いている。裏の世界との繋がりがあっても不思議でない。

この状況下で、クロアチアの反オルバン勢力が、オルバン一家の動向に目を光らせている。今回の乱交パーティのビデオや写真を撮ったのは派遣された女性だと指摘されている。誰かの指示で、撮影したと思われる。こうして、ボルカイとラーコシュファルヴィの「乱交パーティ」が、クロアチアの反オルバン反 FIDESZ 監視網に引っかかった可能性は否定できない。

どうなるボルカイ・スキャンダル

AUDI にしてみれば、工場敷地売買でジュールの要人に利益供与できるのであれば、言い値で買収しても構わないと考えただろう。リベートを合法的に渡せるからである。もちろん、敷地買収だけでなく、工場の進出に伴ってあらゆる種類の利権が発生する。そういう利権をむざむざと手放すことはないという関係者の強欲さが、市長再選を実現した。しかし、ボルカイ市長の前途は多難である。

ボルカイは選挙後のジュール市新議会終了後に、辞表を提出した。遅きに失したが、ボルカイが市長でいる限り、この問題の追及から逃れることはできない。しかし、この間、さまざまな腐敗情報が公にされてきたことで、市長辞任では済まない問題になっている。

FIDESZ にとって、腐敗や破廉恥行為にたいする倫理感の欠如が暴露されたことは大きな痛手である。ビデオをネットにアップロードした Ördög Ügyvédje(devil lawyer)は、FIDESZ 政治家の破廉恥と強欲はこれに留まらないと次の暴露を予告している。オルバン首相は1人の破廉恥な政治家の個人的行いと片付けているが、自らの家族の蓄財を含め、FIDESZ 政治家の蓄財が暴露されることは致命的な打撃を受ける。公共放送ではほとんど報じられないニュースであるが、ネットを通して全国の若者が情報を共有し合っている。いかに地方に強い FIDESZ といえども、腐敗ニュースの漏洩は FIDESZ 支配を脅かす。

腐敗暴露が FIDESZ 帝国の「蟻の一穴」にならないとも限らない。社会党崩壊がジュールチャーニのウズド演説だったように、ボルカイのセックス・スキャンダルが FIDESZ 帝国凋落の始まりになる可能性を否定できない。

ハンガリーを代表する赤ワインワイナリー
GEREワイナリーが日本人のワイン愛好家の皆様に、通販サイトを開設しました。

www.gere-club-japan.com

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE



KOPAR 2012は皆様のご愛顧のお陰で、在庫切れとなり、販売を終了しました。今後は、**KOPAR 2015**をよろしくご愛顧ください。

最高級赤ワインのセットを、ご自宅に配送します。
日本へは国際宅急便(6本の配送費90ユーロ)で、
ハンガリー国内は200ユーロ以上の注文で送料が無料になります。



各種ワインセットの他に、低温圧搾ぶどう最高級オイル、
ぶどうの種と果皮をミクロンのサイズに粉碎した、
ポリフェノミクロンも、通販サイトを通して購入できます。



GERE-CLUB-JAPANの会員になれば、
各種の特典が得られます。GERE ホテルの予約も、
通販サイトを通せば、日本語で予約ができます。



www.gere-club-japan.com

1956年ハンガリー動乱を撮影した二人の若者

コヴァーチ・ラースロー (Kovács László, 1933-2007 年)

ジグモンド・ヴィルモシュ (Zsigmond Vilmos, 1930-2016 年)

木村 香織



コヴァーチ・ラースロー

1956年10月23日にブダペストで発生したデモ行進から始まり、その翌月にかけて起こった一連の事件は、「制限の中の自由」を求めるものであったが、いつの間にか「無限の自由」を求めるものになり、最終的には大きな力の前に潰された。しかし、この「潰された革命」を未来における新たな自由を求める運動につなげるようとする種は残っていた。「閉ざされた空間」で起こっていることを映像として記録し、「開かれた空間」に発信しようとする者たちもハンガリー人はいいたのである。その中に、後にアメリカの映画界で活躍するコヴァーチ・ラースローとジグモンド・ヴィルモシュがいた。

コヴァーチ・ラースローは、1933年5月14日、ハンガリー中部に位置する小さな街、ツェツェに生まれた。ラースローが10歳の時、村の小学校に移動式映画館が設置された。ラースロー少年すぐに映像の世界の虜になり、上映される映画は逃すことがなかった。

ラースロー少年はブダペストで中等教育を受けた。しかし、学校で教えられる科目にはさほど興味は示さず、映画館に足しげく通っていたという。日に2-3本の映画をみることもあった。学校の成績は芳しくはなかったが、2回目の挑戦でブダペストの演劇・映画芸術アカデミー (a Filmművészeti Akadémia dráma- és filmművészet szak: 現、演劇・映画大学: Színház- és Filmművészeti Egyetem) に入学することができた。1952年のことであった。

そして1956年10月23日、ブダペストで行われた自由を求めるデモに端

を発した一連の事件が起こったのである。コヴァーチは、学校からカメラを借りると、学校の友人であり、生涯の友となったジグモンド・ヴィルモシュと共に、日を追うごとに勢いを強めていく「革命」の様子を、白黒35ミリフィルムに収めていった。そして、騒動が沈静化したように思えた11月、そのフィルムをもってオーストリアに逃れ、翌1957年3月、アメリカ合衆国に亡命したのである。



しかしこの頃には、人々の間では東欧の小国で起こった「革命」への関心は薄れていた。そしてコヴァーチらが命懸けて持ち出したフィルムが脚光を浴びるのは、数年後のことであった。1961年、このフィルムは CBC

テレビのドキュメンタリー番組として放送された。ナレーターは、「アメリカの良心」と呼ばれるウォルター・クロンカント（1916年 - 2009年。第二次大戦の従軍記者としてヨーロッパ戦線をレポートし、戦後は黎明期のテレビジャーナリズムの世界で活躍したアメリカのジャーナリスト）であった。

コヴァーチはアメリカに定住することを決め、1963年にアメリカ市民権を得た。すぐには映像の仕事を得ることはできず、いくつかの仕事を転々とした。メープルシロップ工場で働いたり、保険会社の文書管理をしたりもした。その後、同じくアメリカに亡命していたジグモンド・ヴィルモシュと共に映像の撮影技師として活動を始めた。



1969年、コヴァーチ・ラースローは映画「イージー・ライダー」（デニ

ス・ホッパー監督のアメリカン・ニューシネマの代表作。1969年、第42回アカデミー賞で助演男優賞と脚本賞にノミネートされた）の撮影を担当し、その名を世に知らしめた。そしてその後、アメリカン・ニューシネマ（1960年代から1970年代にかけてアメリカで製作された反体制的な若者の心情を描いた映画作品のジャンル。日本でつけられた名称。アメリカではこの時期はハリウッド・ルネッサンスと呼ばれている）の多くの作品の映像を担当したほか、B級映画、ドキュメンタリー映画の撮影も手掛けた。作品を挙げるときりがないが、ペーパー・ムーン（1973年）、ラスト・ワルツ（1976年）、サンフランシスコ物語（1980年）、ゴーストバスターズ（1984年）、マスク（1985年）、ラジオ・フライヤー（1992年）、ベスト・フレンズ・ウェディング（1997年）、トゥー・ウィークス・ノーティス（2002年）などがある。2002年、全米撮影監督協会から特別功労賞を授与された。



コヴァーチは、51歳の時に結婚し、2人の娘をもうけた。晩年には孫娘も生まれ、穏やかな生活を送っていたようだ。コヴァーチの死は突然訪れた。2007年7月22日、ビバリーヒルズの自宅で就寝中に息を引き取ったのである。74歳であった。



ジグモンド・ヴィルモシュ

ジグモンドは、1930年6月16日、ハンガリーのセグドで誕生した。父は、有名なサッカー選手兼コーチであった。

ジグモンド・ヴィルモシュは中等教育をセグドで受けた。セグドで1番古いギムナジウムに通っていた。ヴィルモシュ少年は小さいころから絵画

や写真に強い関心を示していた。また、好きな学科は文学であった。その延長として、ヴィルモシュ少年は自然と映画の道へ進んでいった。ブダペストの演劇・映画芸術アカデミーに入学し、映像の勉強をした。この演劇・映画芸術アカデミーで、生涯の友であるコヴァーチ・ラースローと出会った。

1956 年のハンガリー「革命」が起きたのはそんな時であった。ジグモンドは、コヴァーチ・ラースローと共に、混乱するブダペストの街の様子をフィルムにおさめた。そして、事態が収束したかに思えた翌 11 月、9000 メートルにも及ぶ量のフィルムをカバンに詰め、決死の覚悟でオーストリア国境を越えたのである。この 2 人のハンガリー人青年の勇気ある行動のおかげで、「西側」の人々が 1956 年のハンガリー「革命」の実態を知ることとなった。このフィルムの映像が実際「西側」の人々の目に触れたのは 1963 年のことであった。フィルムは体制転換後、ハンガリーへ返された。



1957 年、ジグモンドはコヴァーチ・ラースローと共にアメリカへ亡命し、1962 年にアメリカ合衆国市民権を取得した。亡命直後は、語学の面においても苦労し、なかなか思うような映画の職に就くことはできなかった。写真の現像の仕事をするなど、いろいろな職を転々とした。1960 年代も中盤に差し掛かると、当時流行っていた低予算映画の世界に入り込むことができ、晴れてアメリカで映像の仕事に就くことができた。ジグモンドは、B 級ホラー映画やドキュメンタリー映画などを手掛け一躍有名になった。

彼の撮影技術は、ブライアン・デ・パルマ（1940 年－、アメリカの映画監督）やロバート・アルトマン（1926 年－2006 年、アメリカの映画監督）、スティーヴン・スピルバーグ（1946 年－、アメリカの映画監督）な

ど、当時若手であった監督の目に留まり、当時全盛期であったアメリカン・ニューシネマの有名作を数多く担当した。

1977 年 11 月に公開されたスピルバーグ監督の作品「未知との遭遇」では、コヴァーチ・ラースローと共に映像を担当し、見事アカデミー撮影賞に輝いた。また、撮影技術だけでなく現像処理についても新たな技術を追求し、表現を豊かにさせるために多大なる貢献を果たしている。



彼の手掛けた作品も、コヴァーチ・ラースロー同様、挙げるときりがないのだが、少し挙げておきたい。「ギャンブラー」（1971 年）、「脱出」（1972 年）、「未知との遭遇」（1977 年）、「天国の門」（1980 年）、「暗殺者」（1995 年）、「世界で一番パパが好き」

(2004 年)「ウディ・アレンの夢と犯罪」(2007 年)、「恋のロンドン狂騒曲」(2010 年)などがある。ジグモンドは、生涯で 80 以上の映画作品の映像を撮り続けた。70 歳を過ぎても現役で、意欲的に活動していた。



ジグモンドは、生涯 2 度結婚している。最初の妻はエリザベス・フーズといい、2 人の間には 2 人の娘がいる。2 人目の妻は、作家であり監督でもあるスーザン・レーテルである。

ジグモンドの撮影技術はアメリカで高く評価され、生前も多くの方賞も受けた。2003 年には、ICG (映画撮影監督協会) に映画撮影史上最も影響を与えた人物の一人としてその名が挙げられたほどである。

ジグモンドは、生涯の友コヴァーチ・ラースローの死から 9 年後の 2016 年 1 月 1 日、カリフォルニア州のビッグサーにあ

る自宅でその人生の幕を閉じた。85 歳であった。ジグモンド・ヴィルモシュが旅立った 2016 年、アメリカだけでなく彼の生まれ故郷であるセグドの地でも記念碑が建てられた。2017 年にはセグドで国際映画祭が開かれるなど、人々はジグモンド・ヴィルモシュの功績を忘れることはないだろう。

2008 年、アメリカ映画協会はコヴァーチ・ラースローを偲んで、コヴァーチ・ラースロー賞を創設し、映像を学ぶ優秀な学生に授与すると発表した。そして、2008 年、コヴァーチ・ラースローとジグモンド・ヴィルモシュの 50 年に渡る友情をたどるドキュメンタリー映画がつくられた。映画評論家レオナルド・マルティン (1950 年-)。アメリカの映画評論家であり歴史家は、コヴァーチ・ラースローとジグモンド・ヴィルモシュなしに、60 年代 70 年代アメリカ映画は花開かなかっただろうと語っている。



木村香織

『亡命ハンガリー列伝』より

ハンガリー動乱から 63 年

盛田 常夫

1956 年 10 月 23 日に勃発したハンガリー動乱は、「スターリン主義に侵されたソ連型社会主義」への人民蜂起であった。ブダペストで突発的に起きた騒乱にたいし、ソ連共産党は性急にも軍事制圧を決めた。10 月 24 日に 3 万人を超えるソ連軍大部隊がハンガリーの主要都市を制圧し、ユーゴスラヴィアとオーストリア国境にも部隊を配置した。

10 月 24 日のブダペスト市内では、ハンガリー軍駐屯地から武器を奪取した市民と市内の要衝で睨みを利かせるソ連軍戦車との間で激しい戦闘が繰り広げられた。ソ連共産党幹部会へのスースロフ報告では、ハンガリー側の死亡者 350 名、負傷者 3,000 名、ソ連軍の死亡者 600 名と報告された。双方共に、甚大な人的犠牲を生み出した。

私はここ 15 年ほど、断続的にハンガリー動乱の全容を知るための資料収集を行ってきた。体制転換 30 年を区切る意味で、総括的な社会経済分析を準備しているが、その中の 1 章として、戦後の東欧における「人民民主主義革命」の成立からハンガリー動乱勃発までのプロセスを詳細に記すことにした。東欧社会主義成立の歴史を辿ることで、その崩壊への必然性が見えるからである。

資料を読み解く中で、日本ではいまだ知られていない数多くの事実を知ることになった。体制転換によって、実に様々な文書や資料が公開され、それにもとづく研究が次々と公表されてきた。その数は数百をはるかに超える。とくにソ連側の機密資料が公開されることが、新たな研究成果をもたらした。

ロシアから新資料

ソ連崩壊と東欧の体制転換によって、1990 年代からハンガリー動乱時の様々な機密文書が公開されるようになった。イェルツィン大統領が 1992 年暮れに、ハンガリー大統領に手渡した当時の機密文書は、動乱前の 1956 年 4 月のアンドロポフの極秘電報（ソ連共産党幹部会宛）から始まって、動乱時におけるソ連要人の報告、動乱以後のナジ首相グループの処遇、ユーゴスラヴィアとの関係をめぐる報告と決定（1958 年 7 月まで）が含まれている。また、ソ連共産党幹部会討議の覚書である「マリン覚書」（Malin Note）のうち、1956 年のポーランド情勢とハンガリー動乱にかんする討議部分が、1996 年に公開された。これは中央委員会事務局長 Valdimir Nyikiforovics Malin が個人的なメモとして走り書きしたものである。

これらの全容をここで記すことはできないが、1956 年 10 月 23 日から 11 月 4 日のソ連軍第二次制圧にいたる過程やナジ・イムレ首相グループのユーゴスラヴィア大使館への亡命・拘束は、これらの資料からほぼ全容が明らかになっている。

1956 年 10 月中旬、ポーランドのポズナン暴動勃発に際して、フルシチョフはソ連軍をポ

ーランド国境に移動し、軍事介入の構えを見せた。スターリン批判の行きすぎによる東欧社会主義の不安定化の責任を追及するソ連共産党幹部会保守派を抑え込むために、フルシチョフは強硬姿勢を見せたのである。最終的に、ゴムルカの書記長復帰で事態を収めたポーランドへの介入を断念した。フルシチョフ自身、軍事介入は簡単だが、その後の平定は難しいという現実的判断をもっていた。

興味深いことに、中国共産党は武力介入に反対し、ポーランドとソ連の仲介役を果たすべく、劉少奇一行をモスクワ経由でワルシャワに派遣しようとした。しかし、モスクワに到着した一行は、ポーランド情勢よりハンガリー情勢が緊迫していることを知り、モスクワに留まってソ連共産党と協議を続けることになった。

10月23日に勃発した動乱にたいし、ソ連共産党は即座に軍事制圧を行ったが、中国共産党とユーゴスラヴィア共産主義者同盟は、このソ連の軍事行動を厳しく批判した。ソ連共産党幹部会においても、ハンガリー情勢に詳しいミコヤンは一貫して軍事介入に反対した。あまりに先走った行動だった。突然のソ連軍進駐にたいして、ハンガリー国民の怒りは頂点に達し、無用な人的犠牲を招いた。ソ連共産党幹部会は急ぎすぎた判断を悔い、10月28日にいったん軍を駐屯地に引き揚げさせた。

他方、ハンガリーの共産党幹部はソ連に亡命し、新たに首相の座に就いたナジ・イムレはソ連軍のハンガリーからの撤退とワルシャワ条約機構からの脱退を宣言することになった。ソ連共産党幹部会もまた、中国共産党の提案を聞き入れ、ワルシャワ条約機構会議の招集と社会主義諸国からのソ連軍撤退を議論することに同意した。少なくとも、10月30日夕方まで、ソ連共産党幹部会はこのラインで一致していた。

ところが、フルシチョフと断続的な協議を続けていた劉少奇は、毛沢東との電話連絡を取りながら、新たな方針をフルシチョフに伝えた。10月30日夕刻である。ハンガリーが社会主義陣営から離脱することは阻止されなければならない。そのために、軍事力行使を容認するという方針転換である。ユーゴスラヴィア大統領ティトーも、この時点でソ連の軍事介入を容認した。30日夜に開催されたソ連共産党幹部会には劉少奇も加わり、中国共産党は「プロレタリア国際主義の立場からソ連軍のブダペストおよびハンガリー全土の駐留を支持する」と宣言し、ソ連共産党幹部会はハンガリーの再度の軍事制圧を決定した。

10月31日、フルシチョフはヨーロッパの社会主義国首脳の合意を得る行脚に出かけた。フルシチョフが出発する直前にブダペストから戻ったミコヤンは、30日夜の幹部会決定を批判し、30日午前の決定に戻すべきだと激しく詰め寄り、ハンガリーに「10-15日の猶予を与えるべきだと」主張した。しかし、フルシチョフはマレンコフを従えて、ポーランド、ルーマニア、ユーゴスラヴィアへの行脚にでかけた。

ブリオニ合意と破棄

11月1日、ナジ首相とともに政府を構成したカードールは、行方が分からなくなった。その日の夜にカードールの演説がラジオから流されたが、その時にはカードールはハンガ

リーにいなかった。この日の午前、アンドロポフソ連大使公邸に呼ばれたカーダールとミュニッヒ・フェレンツは、そのままソ連の軍用機でモスクワに連行されたのである。そして、翌日のソ連共産幹部会に立たされることになった。そのカーダールが傀儡政権首班としてソ連の戦車に乗ってハンガリーに戻ったのが、11月4日である。

11月2日、飛行機と船を乗り継いでユーゴスラヴィアのブリオニ島にやってきたフルシチョフは、夜7時から明け方までティトー大統領と協議を続けた。ハンガリー武力制圧に理解を求める会談だった。ティトーは軍事制圧を容認したが、臨時政府首班にソ連滞在が長いミュニッヒではなく、国内活動派のカーダールを据えるべきだと主張した。また、ナジ政府首脳のユーゴスラヴィア亡命を提案した。

3日午後にクレムリンに戻ったフルシチョフは、保守派が推すミュニッヒ・フェレンツではなく、カーダールを首班に据えることを主張し、逡巡するカーダールを説得して議論を取りまとめた。これによって、すべての手筈が整えられ、ソ連は11月4日、ハンガリーを軍事制圧する準備に入ったのである。

4日未明からソ連軍は大部隊をハンガリー全土に展開し、ブダペストを制圧した。ここでも甚大な人的犠牲が生まれた。ソ連軍の侵攻が始まる前に、ナジ政府を構成した人々は、ナジ首相とともに英雄広場角にあるユーゴスラヴィア大使館に亡命した。客室が3部屋しかないところに、政府要人やその家族40名余が身を寄せた。

11月中旬、軍事制圧に自信をもったソ連は、ティトーとのブリオニ合意を破り、「平和的に自宅に戻す」という虚偽情報でナジ首相グループをユーゴスラヴィア大使館からおびきだした。大使館に横付けされたバスはソ連軍が手配したものだった。彼ら一行を乗せたバスはソ連軍基地に到着し、そこから飛行機でソ連の意のままに動くルーマニアへ移動させ幽閉したのである。半年後の1957年4月にルーマニアからハンガリーに移送されたナジ・グループに、紆余曲折を経て、最終的に1958年6月15日に判決が下った。死刑判決を受けたナジ首相は、同じく死刑判決を受けた軍人マリーテル・パールと元党機関紙編集者ギメシュ・ミクローシュとともに翌未明、絞首刑に処せられた。獄中死したロションツ・ゲーザ（元党機関紙編集者）を含めた4名の名誉回復の再埋葬式は、1989年6月16日に行われた。

1988年に書記長を解任され、1989年5月に中央委員会議長からも解任されたカーダールは、ナジ首相他3名の再埋葬式が執り行われてから3週間後の7月6日に他界した。私はたまたまこの日の朝に、ハンガリー社会主義労働者党本部でニュルシュ・レジュー委員長と会う予定になっていた、その場でカーダール死去が伝えられたのを覚えている。

晩年のカーダールは自らが手を下したナジ・イムレと、1949年にスターリン＝ラーコシの奸計に陥り処刑されたライク・ラスロー（当時の政治局員で外務大臣）の亡霊に悩まされていたと言われている。口外しなかったが、この二人の死に深くかかわったという記憶は、カーダールの脳裏から離れることがなかったのだろう。ハンガリー動乱を頂点とする戦後東欧社会主義の歴史は、ハンガリーにとって、不幸な出来事が連鎖した悲痛な40年であった。

日本人学校運動会

今回の運動会では本当にいろいろなことを経験することができました。はじめのうちは僕が団長という立ち位置にいること自体に疑問を持っていましたが、応援の練習の準備などをしているうちに団長としての自覚が生まれてきました。応援練習では、教え方や進め方の効率が悪かったりして完成するまでに時間がかかってしまいましたが、団員のみんながまじめに練習してくれたおかげで素晴らしい応援にすることができました。

残念ながら白組は準優勝という結果で終わってしまいました。自分としてはもちろん団長としてだれよりも本気で応援し競技を行ったつもりでしたが、もっともっとみんなにポジティブでやる気の出るような声をかけていたら勝てたのではないかと思うとやりきれない気持ちになってしまいます。ですが白組のみんなは最後まで僕についてきてくれましたし、最後まで団結していたと思います。なので、僕はもう一度白組の団員のみんなにありがとうと言いたいです。

白組団長 柴田大輔（しばた だいすけ）

短い練習期間でしたが、今年のスローガンの「we can do it! みなぎる力 燃える心」のもと、みんなで最高の応援を作り上げることができました。応援練習で、うまくできない時、応援団全員で協力することで、全員の動きを揃えることができました。初めてするような動きや、予定にはなかった動きまで、みんな頑張ってくれました。

こうして、練習の時から全力で行動し、助け合い、一致団結することで、運動会当日は優勝することができました。ほかの学年の競技の時も、「応援しよう!」と言ったらみんな大きな声で応援をし、紅組を盛り上げてくれました。

運動会の練習を通して「最初から最後まで全力」という姿はみんなの心を動かすということが分かりました。このことはこれからの日々の生活にも生かしていきたいです。

紅組団長 渡邊 煌己（わたなべ こうき）

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE

ハンガリー・ヴィッラーニ地方の赤ブドウ加工品

GEREワイナリー製品

無添加自然加工(自然の恵みもの)
ポリフェノミクロン(商標登録申請中)



100% SZŐLŐMAG OLAJ シードオイル(箱付き、250ml)

ポリフェノールと不飽和脂肪酸を含んだ赤ブドウの極上低温圧搾シードオイル

成分構成: 不飽和脂肪酸 min. 80%, ポリフェノール min. 6%

使用法: サラダなどの冷たい食べ物に直接かけたり、パンへ直接かけて、ほのかな香りを楽しみ、食欲を増進。

1日の摂取量: 小さじ1杯(およそ5g)を毎朝、可能な限り、空腹時に摂取するのが望ましい。



SZŐLŐMAG & HÉJ MIKROŐRLEMÉNY 種子と果皮のミクロ粉末 (ポリフェノミクロン) (カプセル180個)



KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ

種子と果皮のミクロ粉末
(缶入り徳用缶、150g)

ポリフェノールをふんだんに含む有機栽培赤ブドウの種子と果皮を粉砕したミクロ粉末

ポリフェノール成分: 5gの粉末はおよそ250mgのポリフェノールを含む。

使用法: 粉末をそのまま食することは避け、ヨーグルトなどに混ぜて食する。

1日の摂取量: 1日に小さじ1杯の粉末を2回に分けて摂取。

100% SZŐLŐMAG OLAJ/ KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ シードオイル&ポリフェノミクロンセット (化粧箱入り)

以下のサイトから購入できます。

<https://www.gere-club-japan.com>

GERE Grand vin 特選セット



GERE *Grand Vin* セット

GERE Grand vin Koparセット



GERE Grand vin Solusセット



GERE Grand vin Attilaセット



ハンガリー在住の方の商品価格と配送について

- (1) 日本に輸入する場合と異なり、ハンガリー在住の方の商品購入量に制限はありません。
- (2) 購入総額が200ユーロを超える場合には、ハンガリー国内での配送料は無料となります。それ以下の場合には、配送料がかかり、お住まいの都市や町によって、配送料は異なります。
- (3) 配送先には、ご自宅あるいはお勤め先を指定することができます。ただし、自宅を留守にすることが多い場合、あるいは町中で配送車の駐車が難しい場合、注文された品物はTateyama R&D Europe Kft. (1125 Budapest, Zsolna utca 35/A) を保管ポストとして利用し、ご都合に応じて、Tateyama事務所での引き取りが可能です（平日9時から17時まで）。在宅が不確実な場合、保管ポストのご利用をお勧めします。

2019年11月1日からの販売商品の価格は以下の通りです。この価格は付加価値税込みの価格です。

ハンガリーでの商品購入価格

商 品 名	商品価格
1 Light wine set	取扱い停止
2 Gere selection	取扱い停止
3 Medium body set	取扱い停止
4 Cabernet set	取扱い停止
5 Premium set	取扱い停止
6 Grand vin selection	340ユーロ
7 Grand vin Kopar set	165ユーロ
8 Grand vin Solus set	270ユーロ
9 Grand vin Attila set	600ユーロ
10 Grape oil 10 bottles	105ユーロ
11 Grape powder 10 boxes	115ユーロ
12 Grape capsule 10 boxes	190ユーロ
13 Oil-powder set 4 boxes	95 ユーロ

なお、販売価格は為替レートの変動に応じて、変更されます。この価格は2020年12月31日まで有効です。

<http://www.gere-club-japan.com>

日本で購入される場合の商品価格、配送方法、配送料

本カタログ1頁目に記されているように、日本で国外製品を個人輸入する場合にはさまざまな制限がありますが、少量の個人輸入は個人のみならず、自己の営業場で販売消費する場合についても容認されています。

本通販では商品セットを複数注文することは可能ですが、**配送は商品セット毎の配送**となり、まとめて梱包して配送することはできません。この点、ご了承ください。

2017年10月1日現在の商品価格は以下の通りです。

日本で購入される場合の商品価格および国際宅急便代金

商 品 名	商品価格	国際宅急便代
1 Light wine set	取扱い停止	90ユーロ
2 Gere selection	取扱い停止	90ユーロ
3 Medium body set	取扱い停止	90ユーロ
4 Cabernet set	取扱い停止	90ユーロ
5 Premium set	取扱い停止	90ユーロ
6 Grand vin selection	255ユーロ	90ユーロ
7 Grand vin Kopar set	130ユーロ	90ユーロ
8 Grand vin Solus set	210ユーロ	90ユーロ
9 Grand vin Attila set	480ユーロ	90ユーロ
10 Grape oil 10 bottles	85ユーロ	67ユーロ
11 Grape powder 10 boxes	90ユーロ	67ユーロ
12 Grape capsule 10 boxes	150ユーロ	67ユーロ
13 Oil-powder set 4 boxes	75ユーロ	67ユーロ

なお、販売価格は為替レートの変動に応じて、変更されます。この価格は2020年12月31日まで有効です。



コルナイが綴る 20 世紀中欧の歴史証言

池田信夫「21世紀最初の10年ベスト経済書」第2位にランク
「週刊ダイヤモンド」2006年ベスト経済書第9位にランクイン

コルナイ・ヤーノシュ自伝

—思索する力を得てコルナイ・ヤーノシュ【著】 盛田常夫【訳】

◆好評発売中！ ◆定価 4935 円（税込） ◆A 5 判／ ISBN 4-535-55473-0 日本評論社



体制転換 の経済学

黄色の教科書シリーズで知られる専門学
部の定番テキスト。体制転換の理論と転
換直後の現状を分析。各大学で教科書と
して使用。

盛田常夫著

第一部 社会主義経済の失敗

社会主義崩壊をもたらした社会的退化への論理を構築。交換経済と再分配経済の
比較分析に新たな視点を提供。

第二部 ポスト社会主義経済

体制転換の過渡期の問題をすべて取り上げ、解決の道筋を示す。地域による体
制転換の違いを解明。

■ 新世社 新経済学ライブラリー20 定価2781円(税込)



なぜハンガリーは独創的な科学者を輩出したのか

20 世紀を創ったハンガリー人 マルクス・ジョルジュ【著】 盛田常夫【編訳】

■ 定価 3045 円（税込） A 5 判

■ ISBN 4-535-78331-4

異星人伝説

「週刊文春」(米原万里)、「週刊ダイヤモンド」(北村伸行一橋大学教授)で書評。

ハンガリーは 20 世紀の科学の発展に貢献した多くの頭脳を
輩出した。大きな足跡を残した科学者たちの評伝。

体制転換20年の歴史的・理論的総括の書

ポスト社会主義の政治経済学

体制転換20年のハンガリー：旧体制の変化と継続

新しい概念を駆使して、体制転換以後の中欧社会の状況を分析。

日本経済新聞(2010年3月21日)ほか、多数の書評。

旧来の定説を覆し、新たな知見を広める革新の書。

盛田 常夫著 日本評論社 定価3800円

